

研究室から社会へ — 造血幹細胞研究が駆動する医療イノベーション —



神戸大学大学院医学研究科
医科学専攻 生化学・分子生物学講座
細胞医科学分野
教授

宮西 正憲氏

造血幹細胞は、血液や免疫細胞を生み出す「生命の源」とも言える細胞であり、私たちの体を支える基本的な仕組みを理解する鍵となっています。造血幹細胞研究は、こうした生命の根本原理を明らかにする基礎研究であると同時に、再生医療や遺伝子・細胞治療といった新しい医療を生み出す出発点でもあります。我々の研究室では、造血幹細胞がどのように働き、どのように病気や老化と関わるのかを、独自の解析技術を用いて研究してきました。本講演では、これまでの研究成果に加え、どのようにして造血幹細胞研究が医療技術へと発展し、実際の治療や産業へとつながっていくのかを紹介します。さらに、神戸大学医学部が目指す産官学連携を通じた医療イノベーションを届ける仕組みとその可能性についても議論します。